

秋 平成15年度(2003)秋季地区予選

B(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	上郷	松陽	瀬谷	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		3-4	10-1	11-4	2	15	2
上郷	4-3		10-3	17-2	3	23	1
松陽	1-10	3-10		19-7	1	-4	3
瀬谷	4-11	2-17	7-19		0	-3	4

平成15年度(2003)秋季県大会

【1回戦】9月6日 伊勢原球場
 希望ヶ丘 2 0 0 0 0 2 2 0 0 | 6
 大清水 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
 (希)堀井 - 神田
 (大)山川、高橋 - 玉田
 ▽本塁打 和路(希)
 ▽三塁打 神田(希)金子(大)
 ▽二塁打 加藤、神田(希)

【2回戦】9月7日 等々力球場
 希望ヶ丘 0 0 0 2 1 0 0 0 0 | 3
 県横須賀工 0 0 0 0 0 0 0 0 0 | 0
 (希)猪木 - 神田
 (県)中山 - 池田
 ▽二塁打 神田、西沢、猪木(希)

【3回戦】9月13日 横浜商大高
 金沢 0 0 0 3 0 0 0 1 0 6 | 10
 希望ヶ丘 0 0 1 0 1 0 1 0 1 1 | 5
 (延長10回)
 (金)高橋 - 久松
 (希)猪木、内田、堀井-神田
 ▽三塁打 前原(金)大谷(希)
 ▽二塁打 古嶋、高橋2、山本(金)後藤、村越(希)

春 平成16年度(2004)春季地区予選

E(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	柏陽	鶴見総合	城郷	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		7-2	16-2	11-1	3	29	1
柏陽	2-7		9-7	0-10	1	-13	3
鶴見総合	2-16	7-9		4-25	0	-37	4
城郷	1-11	10-0	25-4		2	21	2

平成16年度(2004)春季県大会

【2回戦】4月10日 大和引地台球場
 希望ヶ丘 0 0 0 0 0 3 1 1 0 | 5
 相川 0 0 0 0 2 0 0 0 0 | 2
 (希)猪木-神田
 (相)大津、倉田-和田
 ▽三塁打 和路、阿部(希)
 ▽二塁打 加藤(希)

【3回戦】4月17日 伊勢原球場
 希望ヶ丘 0 0 2 2 4 0 0 0 0 | 8
 法政二 1 0 0 1 3 0 2 0 0 | 7
 (希)猪木、堀井 - 神田
 (法)沢井、海野、生駒、小林 - 藤井
 ▽三塁打 久木田(法)
 ▽二塁打 後藤(希)、合川、伊藤忠(法)

【4回戦】4月24日 大和引地台球場
 希望ヶ丘 0 0 0 1 0 0 0 0 0 | 1
 横浜隼人 0 3 0 0 3 0 0 0 x | 6
 (希)堀井、猪木 - 寛大
 (横)鈴江 - 坂井
 ▽二塁打 井上(横)

第86回全国高校野球選手権神奈川大会

【2回戦】7月15日 大和引地台球場
 試合時間2時間22分
 川崎北 0 0 1 0 1 0 0 1 2 | 5
 希望ヶ丘 1 0 0 0 1 0 0 0 0 | 2
 (川)上田-本吉
 (希)猪木-神田
 ▽二塁打 佐藤2、上田(川)
 ▽犠打 川4(渡辺、岡沢、沢木2)希4(加藤、古山、和路、猪木)
 ▽盗塁 北0希0
 ▽失策 北2(平野、沢木)希2(古山、猪木)

K-57 神田浩史

希望ヶ丘高校野球部創立120周年、誠におめでとうございます。時が経つのは本当にはやいもので、私たちが高校を卒業してから20年近くが経とうとしております。プロ野球で活躍している同学年の選手も、有名どころではダルビッシュ有投手・涌井秀章投手がいますが、多くの選手が引退をしてしまい、歳をとったことを一層実感させられております。

さて、私たちの世代はといいますと、まだ私が中学生の頃に先輩方の横浜地区予選の公式戦を観に来た際には先輩方は2学年合わせて20人いないくらいの人数で活動をされていたので、入学してからもそれくらいの人数になるのかな?と思って入学しましたところ、ふたを開けてみると同級生だけで20名以上が入部し、3年生のころには3学年合わせて選手とマネージャーさんで60名を超えていたことは、吉野哲也先生の人望とご指導のたまものであったことと思います。

入学したての1年生の折に、希望ヶ丘高校野球部創立100周年記念式典が盛大に取り行われました。「甲子園出場」も春の選抜大会での21世紀杯での参加が可能となる日が現実味を帯びてきたことにより、「県大会で私学を倒していけば、本当に甲子園に行けるかも…」と期待に胸を膨らませて緊張した高校野球生活が始まったことを思い出します。

戦績はといいますと、前述させていただきました「21世紀杯での甲子園出場」は秋の県大会にて惜しくも公立校の金沢高校に敗れてしまい、叶わぬ夢となってしまいました。秋の悔しさをバネに辛い冬のトレーニング期間を乗り越え挑んだ春の県大会ではベスト16を決める試合で法政二高と対戦し、勝利を収めた結果、夏の選手権大会では第3シードをして出場することになりました。ただ、シード校として出場した選手権大会では緒戦で敗退してしまい、私たちの高校野球は幕を下ろしました。

かけがえのない仲間とは、高校卒業後しばらくは草野球チームを結成し、ほぼ毎週のように活動を継続しておりました。時の経過に伴い、それぞれが地元横浜を離れ、所帯を持つにつれて活動は減ってしまいましたが、旭区の大会で優勝するなど、貴重な経験も積むことができました。

希望ヶ丘高校で野球に取り組むことができ、さらには生涯の大切な友達もできたことが、人生の大きな財産になっていることは言うまでもありません。今後も希望ヶ丘高校野球部の発展を心より祈念しております。